

幾分、影響ヲ又スニ於テハ利益僅少ナラサルニ由
リ明治十五年迄無利足リ以テ貸付ノリタシト
部議監獄所工業ノ儀ハ殖産輸出ヲ目的トスルモ、ニ
非ラス故ニ是等ハ許可セシレサル方然ルハシト左
桜ヲ附シ上陳ス

御指令桜

伺ノ趣起業費繰替渡ノ儀ハ難聞届候事

録二號

三月廿日
全日本茶業
可同日裁可

○紅茶製造資本金拜借ノ稟議

内務卿稟議ニ曰高知縣令コリ管下土阿西國其自然生
山茶鮮カラサルニ由リ紅茶製造ヲ創ノ廣ク海外ニ
輸出ヤシムルノ目的ヲ以テ去ル十年試製ヲ勸農局

ニ仰キ續テ本縣勸農課ヨリ兩國六ヶ所ハ製造所ヲ
設置ニ製造試賣セシニ相當ノ計算相立テ人民希望
ノ者鮮カラサル慶今般管下士族野口直頼以下製茶
資本拜借ヲ出願スルヲ以テ結社致サセ兩國山村ノ
産茶ヲ製造シ邦家ノ鴻益ヲ謀ラシメ度然ルニ本願
金五万圓拜借ノ旨趣ナリト雖ハ私社創業ノ際事業
ノ成立ヲ要スルニ或ハ金額ノ多キヨリ相應ノ事業
擧ラス及テ失敗モ難計然リ而シテ願意ノ事業ハ前
途數十万金ヲ要スルニ由リ先ツ事ヲ小ニシ成ルヲ
固クシ漸次養成スルニ如カスト思考セリ仍テ本願
ノ金額ヲ減省シ金三万圓該事業勸導保護ノ資金ト
シテ下付アリクシト稟議ス依之該金額無利子ニケ
年置据明治十五年七月ヨリ向十ヶ年賦返納トシ士

族授産金ノ内ヨリ貸與セラレクク指令桉ヲ附シ進達ニ及ノト

指令桉

書面ノ趣無餘儀事情ニ相聞候ニ付特殊ノ詮議ヲ以テ金三万四明治十三年七月ヨリ無利子二ヶ年置据同十五年七月ヨリ向十ヶ年賦毎歲五月限リ返納ノ定メヲ以テ其縣へ貸下候條資金ノ收支運用共渾テ監督シ屹度就産ノ実効相立候様精々注意可致尤社則ノ儀ハ不整頓ニ付詳細訂正ノ上至急可伺出候事

但事業ノ形况資金ノ運用等年々六月十二月限リ取調可申出事

部議事情無餘儀ニ由リ士族授産金ノ内貸下ノ儀允許

然ルヘク尤無抵當ナルヲ以テ容歲八月中該縣士族國澤大ハ外數名ノ貸下ケ金同様資金收支運用トモ渾テ縣令ニ監督マシメ然ルベシト内務部協議ノ上左桉ヲ附シ上陳ス

御指令桉

伺ノ趣聞届候條指令桉貼紙ノ道可相改事

第九五號

○舊苗水藩士卒就産資本金ノ稟議

内務卿稟議ニ曰岐阜縣令ヨリ管下旧苗水藩士卒等族祿復舊或ハ扶助セラレ度トノ儀是迄數回出願セシニ採用セラレスル後品川内務大書記官ヨリ照會ノ趣本人共ノ懇篤示諭セシニ趣意貫徹遂ニ製絲陶窑